

平成 31 年和泉市教育委員会第 1 回臨時会

日 時:平成 31 年 2 月 7 日(木) 午後 2 時 00 分から

場 所:和泉市役所 3 号館 3 階 市議会委員会室

出席者 教育委員会

教育長	小川 秀幸
教育長職務代理者	本間 法之
委員	槇野 勝美
委員	松尾 孝人
委員	藤原 安次
委員	藤原 真佐子

事務局

参与	森吉 豊
教育次長兼学校教育部長 (学校教育部)	並木 敏昭
教育指導監	大槻 亮志
理事兼教育総務室長	立花 達也
指導室長	上田 茂幸
教育総務室総務企画担当課長	東 直樹
指導室指導担当課長	大野 浩昭
指導室教職員担当課長	鈴木 俊孝
指導室人権教育担当課長	阪下 誠
教育総務室総務企画担当総括主幹 (こども部)	山本 暢子
こども部長	北野 泰史
こども未来室長	山本 幸永
(生涯学習部)	
生涯学習部長	堂ノ上 宏幸
生涯学習部次長	
文化財振興・久保惣記念美術館担当	乾 哲也
生涯学習・スポーツ振興担当	辻野 明子
読書振興課長	中野 雅代
青少年センター総括主幹	西口 学

1. 開 会

2. 会議録署名委員の指名について

3. 審議事項

議案第 3 号 平成 31 年和泉市議会第 1 回定例会に提出する議案について
平成 31 年度当初予算(教育関連)について

議案第 4 号 和泉市立小学校・中学校・義務教育学校の教職員管理職人事について
(非公開)

4. その他の報告事項

5. 閉 会

小川教育長	それでは、定刻となりましたので、平成 31 年和泉市教育委員会第 1 回臨時会を開会させていただきます。 今回の会議録署名委員の指名でございますが、本間職務代理者と藤原安次委員にお願いいたしますので、よろしくお願いします。 それでは、議事を進めさせていただきます。 本日は、審議事項 2 件になります。 それでは、議案第 3 号「平成 31 年和泉市議会第 1 回定例会に提出する議案について 平成 31 年度当初予算（教育関連）について」事務局（教育総務室）より説明をお願いします。
東課長	教育総務室、東でございます。 資料 2 ページをお願いします。 この度、平成 31 年度当初予算の内容が整理され、2 月 13 日告示、2 月 20 日開会の平成 31 年第 1 回定例会での審議に先立ち、教育部分に関する教育委員会の承認が必要となりますことから、その概要について、説明を申し上げます。 まず、教育費全体としては、約 57 億円でございます、前年度と比べますと約 16 億円程度の減額予算となっております。 その内訳としましては、1 教育総務費における小中一貫校（南松尾はつが野学園）の UR への建設負担金の支払いが減額となったこと、4 幼稚園費における私立幼稚園等運営費負担金について、資料下段の民生費に振り替えを行ったことが大きな要因となっており、これらの経費を除くと、総額ベースでは、概ね、前年度どおりで、その他の増減については、工事費の増減が主な要因になってございます。 なお、前回説明しました小学校の空調整備約 19 億円を平成 31 年度に繰り越して実施しますので、実質的には、その分の増額になるものと分析しています。 また、民生費における保育所費については、先ほどの幼稚園費からの振り替えがありましたが、平成 30 年度に予算計上していた新設認定こども園創設事業補助金が減額になりますので、概ね前年同額となっております。 詳細については、次ページ以降で説明させていただきます。 それでは、資料 3 ページをお願いします。 各課における主な取組項目について説明させていただきます。 まず、こども未来室では、幼稚園保育園の無償化が計画されておりますが、現時点でその詳細が不確定な部分もあり、システム改修経費のみを計上し、無償化に係る予算につきましては、補正予算での対応を予定しております。 次に待機児童の解消を目的として、平成 31 年度に開設する「認定こども

	も園和泉中央みのり園」への開設補助、「認定こども園あいしゅう幼稚園」の定員増を伴う改修事業への助成を行うとともに、北西部にて新設認定こども園の開設を行う運営事業者の選定を行うことで、定員増の確保を行い、待機児童の解消をめざすものでございます。 次に幼稚園用務員の委託でございますが、資料４ページの上段、学校用務員とあわせまして、新規採用を実施していない用務員について、不足する分を委託にて対応するべく、幼稚園２園、小学校３校分の予算を計上しました。 資料３ページに戻りまして、教育総務室関連でございますが、補正予算計上といたしまして、小学校空調整備事業、ブロック塀に関する予算を計上するとともに、石尾中学校における法面改修工事を計上し、学校給食の調理委託については、新たに和泉中学校、光明台中学校に導入することといたしました。 続きまして、資料４ページをお願いします。 学校適正配置事業については、富秋中学校区における地域との調整経費を計上しており、槇尾中学校区における予算は、この３月の適正就学対策審議会の内容を受け、必要な予算を補正予算計上する予定としております。 なお、教育総務室予算については、学校体育館の改修予算を計上しておりません。このことは、国会で審議中の補正予算の関係で、補助金が未定なためでございます。 今後、詳細決定後、追加措置の可能性がありますので、よろしくお願いいたします。 次に総合教育会議でご議論いただきました「働き方改革」に関する予算として、学校電話へのメッセージ機能の追加と小中６校でのスクール・サポート・スタッフ配置のモデル実施予算を計上致しました。 次に奨学基金関係として、新たな基金に、今の奨学基金の額を積み替えるものとして、約３億３千万円を計上し、新たな給付制度の導入として、約１,１００万円を計上しました。 その他、コミュニティ・スクールの研究事業を立ち上げるとともに、いずみ希望塾の継続、学校のパソコン教室の一斉更新、総額約５億５千万円をリース契約にて実施する予算を計上いたしました。 次に資料５ページをお願いします。 文化財振興課では、史跡池上曾根遺跡保存活用計画を策定するとともに、台風２１号の被害を受けた池上曾根史跡公園の竪穴住居屋根の復元、聖神社や泉井上神社の指定文化財の修理費補助を計上しました。 その他、文化財収蔵庫撤去事業として、３千万円を計上しておりますが、これは、文化財収蔵庫を旧南松尾小学校へ移転し、現在の文化財収蔵庫を除却のうえ、その用地を約１億円で売却処分しようとするものでございます。
--	--

	次に読書振興課では、シティプラザ図書館内にカフェコーナーを設置し、読書環境の充実を図るものと致しました。 次に青少年センターでは、子どもすこやか広場について、留守家庭児童会との整合を図るものとしております。 次に久保惣記念美術館では、茶室の耐震化工事、東京富士美術館との協力による特別展に係る予算を計上しました。 最後、生涯学習課では、留守家庭児童会の空調7箇所の更新増設を行うとともに、シティプラザ、コミュニティセンターにてE S C O事業に取り組み、光熱水費の削減に取り組むものでございます。 私からの説明は以上です。
小川教育長	ただいま説明が終わりましたが、特に2点、指導室関係で、総合教育会議でもご議論いただきました「スクール・サポート・スタッフ」と「コミュニティ・スクール」の導入検討について、担当の指導室より補足の説明をお願いできますか。
鈴木課長	スクール・サポート・スタッフの活用につきましては、他市の状況から一定効果があると推測できますが、市としましては将来的に全校において効果的な活用を実現していくために、来年度は小学校3校、中学校3校においてモデル校実施を行い、効果検証をしっかり行いたいと考えております。
小川教育長	続いてコミュニティ・スクールについてお願いします。
大野課長	コミュニティ・スクール（学校運営協議会）とは、現行の学校協議員制度では、校長が推薦し、教育委員会が選任した委員から、校長の求めに応じ、幅広い視野から学校運営に対し、意見や助言を行うのに対し、コミュニティ・スクールにおける学校運営協議会制度は、教育委員会が特別職として委嘱した委員が、校長による学校運営の基本方針の説明に対し、意見を申し出及び承認を行います。現行との違いは、学校運営協議会は、熟議を重ね、複数の構成員の合議によってその意思を決定する組織体であり、委員は学校運営の当事者意識をもって参画することとなります。 「学校運営協議会制度」（コミュニティ・スクール）を導入することにより、これまでの学校協議員制度における「開かれた学校」に留まらず、保護者や地域住民等による当事者意識をもった学校運営への参画及び支援に発展させ、学校・家庭・地域が共通したビジョンをもった取組みの展開ができます。また、これまで以上に地域の力を学校運営に生かす「地域とともに歩む学校」へと発展させ、子どもたちが抱える課題等を地域ぐるみで解決する仕組みを構築し、さらに質の高い学校教育の実現を図ってこうとするためものです。

	平成 31 年度は、コミュニティ・スクールの導入研究にあたり、研究モデル校を指定し、調査研究を行うものです。 導入にあたっては、教職員・保護者・地域住民に対して、設置した目的や仕組みなどの理解を図り、学習会や広報活動を行い、コミュニティ・スクールの運営方法について研究を行います。今回の予算は、それらの研究員への報償費として、計上しています。
小川教育長	具体的にはモデル校は、南松尾はつが野学園ということですね。
大野課長	はい。
小川教育長	ただいま説明が終わりましたが、全体を通して何かご質問等ございませんか。
槇野委員	学校給食調理員の委託を進めていると思いますが、最終的に全校委託化されるのはいつですか。
東課長	次に予定しております信太中学校が、現在改修工事を実施しており、委託化されれば、小中一貫校を検討している槇尾中学校と富秋中学校を除く全ての中学校の委託化が完了する予定です。
槇野委員	当初想定していたコスト削減効果は、現時点では出ているのですか。
東課長	小規模校ではどうしても効果額は少ないのですが、全体としては、単年度、単年度の効果額が累積されております。
槇野委員	施策を打ち出したときには、ある程度完了した時点で当初想定の効果額と比較分析し、効果検証をきちんと行っていただきたいと思います。
東課長	効果額の検証はしております。
小川教育長	次年度の教育振興基本計画では、そのあたりも踏まえて報告をお願いします。 他にご質問等ございますか。
藤原真佐子委員	スクール・サポート・スタッフとコミュニティ・スクールのモデル校の選定方法ですが、どのようにしているのですか。スクール・サポート・スタッフには本当にいろいろなことを担っていただくことになると思うのですが、学校の規模や人数によって、例えば給食室への児童の引率や実験の準備、プリントの印刷にしても余裕がある学校とない学校があり、いろ

	いろいろな方面から見て選定していただかないといけないのかなと思います。 コミュニティ・スクールに南松尾はつが野学園をモデル校として検討しているということなのですが、地域の特性とか、先生、生徒の人数からこの学校では実施しやすいとは思いますが、果たしてこれがモデルになるのかということに疑問に感じています。
小川教育長	それではまず、スクール・サポート・スタッフについてお願いします。
鈴木課長	モデル校につきましては、小学校・中学校ともに大規模校・中規模校・小規模校それぞれから1校ずつ選び配置したいと考えております。それぞれ規模の違う学校における効果の違いなどを含め検証し、より効果的な活用を研究していきたいと考えております。 また、モデル校を選ぶ際の方向でございますが、当該校長が自校の課題をしっかりと認識した上で、スクール・サポート・スタッフの方に具体的に何をしてもらいたいのかという「ねらい」を明確にもっているか否かが重要だと考えます。スクール・サポート・スタッフ配置希望をする学校には、活用計画等の提示を含めプレゼンテーション等を行ったうえで、主体的に課題解決に取り組もうとする学校をモデル校として選んでいきたいと考えております。
小川教育長	それでは、コミュニティ・スクールについてお願いします。
上田室長	南松尾はつが野学園の選定理由でございますが、はつが野4、5、6丁目と旧南松尾校区が、今後一体となり新たな学校づくり、まちづくりを行うことを踏まえまして、現在、学校協議員として活動していただいている方が、今までの学校への支援者から、実際に権限を持って責任を果たす当事者となるような組織体が、すでにできあがっていますので、この学校をモデル校として研究していきたいと考えております。
藤原真佐子委員	協議員が整っている地域というのが選定された理由ということでしたが、今後は整っていない地域でも行っていかなければならないと思います。
上田室長	まずは、施設一体型の義務教育学校で段階的に研究を進め、今後は槇尾中学校区、富秋中学校区、そして分離型の学校の校区でも当事者意識を持っていただき、市全体として中学校区を一つとしたコミュニティ・スクールの検討しております。
小川教育長	他にご質問等ございませんか。

藤原安次委員	教育費総計では昨年と比較すると 16 億 4,538 万円の減額になっていますが、一般財源でいうとどれぐらいになるのか分ければ教えてください。
東課長	把握できておりません。
藤原安次委員	それでは 2 点目ですが、用務員委託事業が幼稚園と小学校にあります が、これは今回が初めてですか。これまではどこも委託していなかったの ですか。
立花理事	これまでは、臨時職員で対応しており、委託は今回が初めてです。
藤原安次委員	9 月からとありますが、4 月から 8 月まではどうするのですか。
立花理事	8 月までは引き続き現行の臨時職員で対応し、夏休み明けからはシルバ ー人材センターに委託します。
藤原安次委員	臨時職員での対応よりも委託のほうが、予算が削減されるのですか。今 後の方針としては、用務員は全て委託へと変えていくのですか。
立花理事	比較しますと、予算は削減されます。今後は、シルバー人材センターへ の委託へと順次変えていくことになります。
小川教育長	この件に関しては、後日、資料の提供をお願いします。
藤原安次委員	それから、指導室の給付型奨学金について、給付費は教科書等購入費 3 万円となっていますよね。予算が 1,140 万円で、単純に割ると 380 人に なります。この 380 人という人数はどのように把握しているのですか。
阪下課長	この給付型は、就学援助受給世帯を対象としており、指導室では現行で 約 20%程度の方に就学援助費を支給しております。現在中学 3 年生の生 徒が約 1,900 人いますので、この給付型についても同じ割合の人数に給付 すると考え、その 20%ということで 380 人という人数を設定しておりま す。
藤原安次委員	1,140 万円という数字が多いのか少ないのかは分かりませんが、他市か ら転入してくる方もいますし、せっかく給付型奨学金で予算を上げている のだから、最初から 20%に決めてしまうのではなく、もう少し広がり のあるような説明をするほうがよいのではと思います。 それから、最後にもう 1 点、文化財振興課の池上曾根遺跡保存活用計画 ですが、これはいつまでに策定するのですか。

乾次長	文化財振興担当次長の乾です。保存活用計画につきましては来年度、再来年度の２ヵ年で策定する予定です。
藤原安次委員	これは和泉市の単独事業ですか。
乾次長	国補助金が 50%で、泉大津市との共同事業になりますので、残りの 50%を和泉市と泉大津市で分ける形になります。
藤原安次委員	今回の計画策定費は委託料ということになるのですか。
乾次長	大半が委託料になりますが、事務経費等もあります。また委託事業も予算的に厳しいところもありますので、その部分は市職員が行ってカバーします。
藤原安次委員	基本的には委託せずに、和泉市のことを良くわかっている専門職員が計画を策定するのが良いというのが私の基本スタンスです。
乾次長	市職員で策定する計画も進んでいましたが、これが法定計画となったことで、ある程度決まった形が求められ、我々文化財専門職員だけでなく、そのような計画に熟知したところをお願いし協働するほうがスムーズであるという府教委からの指示もありましたので、委託という形にさせていただきました。
藤原安次委員	この計画を策定した後には、池上曾根遺跡を保存していくための実行予算が出てくるのですか。
乾次長	保存活用計画はあくまでも方向性を出すもので、それが国に認めてもらえれば、それに則って次の段階で具体案を策定していきます。極めて大綱的な形のものをこの２年間で定めることになります。
藤原安次委員	策定した計画が文化庁で認めてもらえなければ、次には進まないということですね。
乾次長	はい。そうです。
小川教育長	他にご質問等ございませんか。 ないようでしたら、お諮りいたします。 議案第３号について、原案どおり可決することにご異議ございませんか。
【異議なし】	

	ご異議がないようですので、議案第 3 号は、原案どおり可決いたします。 続きまして、議案第 4 号「和泉市立小学校・中学校・義務教育学校の教職員管理職人事について」ですが、こちらは人事に関わる案件でございますので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 14 条第 7 項ただし書きに基づき、非公開とさせていただきたいと考えますが、ご異議ございませんか。 【異議なし】 ご異議がないようですので、議案第 4 号は、非公開といたしますので、先に、報告事項を取り扱うことといたします。 何かありましたらお願いします。 ないようでしたら、議案第 4 号に移りますので、関係のない方の退席をお願いします。 それでは、事務局（指導室）より説明をお願いします。 【非公開】 それでは、本日の臨時会は、これをもって終了いたします。
--	--

平成 31 年和泉市教育委員会第 1 回臨時会の様子



傍聴は当日受付しています。皆様の傍聴をお待ちしております。

傍聴方法：当日受付

開会時刻 15 分前から先着順で入室可能ですが、その時点で定員を超える場合は抽選とします。（定員数は会場により異なります。）

ただし、人事に関する事など非公開となる案件は傍聴できません。